



安芸高田市新成人へのメッセージ

二十歳を迎える283人の皆様、ご成人おめでとうございます。皆様は、明日の安芸高田市を担う大切な若者であり、大切な宝であります。

現在、本市にお住いの方、市外・県外にお住まいの方がおられると思いますが、どこに住んでおられても、皆様のふるさと安芸高田市の事を忘れないで欲しいと思います。本市では、全国各地の安芸高田市にゆかりのある人が集う、『安芸高田市ふるさと応援の会』があり、会員の皆様には安芸高田市のふるさとの情報を、「広報あきたかた」等を通じて、タイムリーに発信しております。『安芸高田市ふるさと応援の会』は市内はもとより、広島都市圏・近畿都市圏・関東都市圏に支部を擁し、現在約2300人の会員がおられます。皆様も応援の会に入会していただき、ふるさと安芸高田市のまちづくりに協力していただきたいと思っております。

中山間地域に位置する本市は、人口減少が大幅に進行し、将来の自治体存続が危ぶまれるといった深刻な課題を抱えております。そのため、本市では人口減対策を最重点課題として取り組んでおります。本市にゆかりのある皆様は無論のこと、多くの皆

様に安芸高田市に住みたいと思われるまちでなければなりません。

そのため本市の人口減対策として①教育水準のレベルアップ②子育て支援としての保育料・医療費の無料化③家庭での就労を含め働く場の創出、を目標に掲げ重点施策として実施することとしました。幸い本市では5年前に高速通信網（光ファイバー）を完備しました。これら光ファイバーの活用により、ICT活用による教育水準のレベルアップ、サテライトオフィスの誘致による就労の確保が可能となりました。

本市を取り巻く社会的状況が、以前に比べて大きく変容しています。以前は物販や就労の条件が本市のような中山間地では不利でありましたが、高速通信網（光ファイバー）の活用により、整ってまいりました。働き方改革促進により、都市部の就労が田舎でも可能な仕組みが広がりを見せています。また事業所での仕事も家庭でも可能となる社会となりました。観光事業もこれまでの宮島や出雲大社のような有名な観光地をめぐるものから、農家体験・神楽等の地方文化を活用した生活・文化を体験する観光へと変容して来ております。本市の固有の財産として、毛利元就関連の日本百

名城郡山城・甲立古墳の2つの国指定の史跡、神楽・田楽の伝統芸能、また日本を代表するスポーツ、サンフレッチェ広島（サッカー）・ワクナガレオリック（ハンドボール）のマザータウンがあります。

これら社会状況の変化を踏まえ、以前からの文化遺産や伝統芸能の活用により、より素晴らしい安芸高田市の構築ができることを確信しております。そのためには、今日成人する皆様、行政が提案する本市の施策に興味を持っていただき、直接または間接的まちづくりに参加していただくことが大切であります。私たちも、皆様が誇れるまち安芸高田市を目指し頑張りたいと思っております。

